

年 組 名前：

問1

「こがらしぶどう」は、通常のぶどうと比較すると、どれぐらい収穫が遅いのですか。

.....

問2

「こがらしぶどう」は、どのような工夫で、収穫を遅らせていますか。

.....

問3

生産者の渡辺さんは、今年の出来栄を、どのように話していますか。

.....

問4

記事の写真の「こがらしぶどう」の品種を教えてください。

.....

こがらしぶどう 甘いよ 山梨市で収穫



こがらしぶどうを収穫する渡辺正美さん
＝山梨市牧丘町西保下

山梨市牧丘町地区で、収穫期を2カ月程度遅らせて希少価値を高めた「こがらしぶどう」の収穫が始まった。栽培しているのは、JAフルーツ山梨
ツ山梨笛川支所管内にある、標高600メートル前後に位置する遅場地帯の農家9軒。巨峰とシャインマスカットの2種類で、雨よけの農業用ハウス内で落葉を防いで収穫期を遅らせ、通常よりも糖度を高くしているという。京浜市場を中心に露地栽培の1・5倍程度の高値で取引される。JAフルーツ山梨の直売所でも販売している。

出荷初日の4日は、同市牧丘町西保下にある、こがらしぶどう部会長の渡辺正美さん(54)のハウスで巨峰100キロを収穫。はさみで一房ずつ丁寧に切り取っていた。渡辺さんは「例年よりも糖度が高く仕上がった。家族で食べてほしい」と話している。JAフルーツ山梨によると、作業は12月上旬まで続き、計12トンの出荷を見込んでいる。



（土屋真佑子）

(2024年11月5日付 山梨日日新聞 16面)